

品目別輸出動向

2022年における北九州港の品目別輸出額及び構成比は、図-2のとおりである。

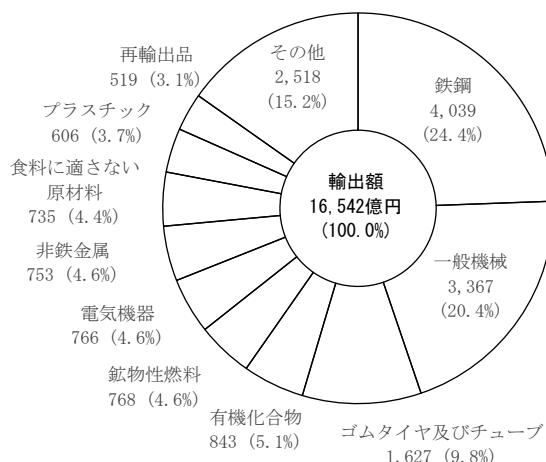
輸出総額は、前年比20.5%（2,813億円）増の1兆6,542億円となった。

鉄鋼、一般機械、ゴムタイヤ及びチューブ、有機化合物、鉱物性燃料の上位5品目で1兆644億円と全体の64.3%を占めている。

上位5品目は、第1位が鉄鋼（4,039億円）、第2位が一般機械（3,367億円）、第3位がゴムタイヤ及びチューブ（1,627億円）、第4位が有機化合物（843億円）、第5位が鉱物性燃料（768億円）であり、前年と比較すると、前年第8位の鉱物性燃料（前年比30.0%増）が第5位へ順位を上げ、代わりに前年第5位の電気機器（前年比0.02%増）が第6位に順位を下げた。このほか、前年第6位の食料に適さない原材料（前年比3.7%増）が第8位に順位を下けている。

上位10品目は全ての品目で、輸出額が前年より増加した。

図-2 北九州港の品目別の輸出額及び構成比



1 鉄鋼

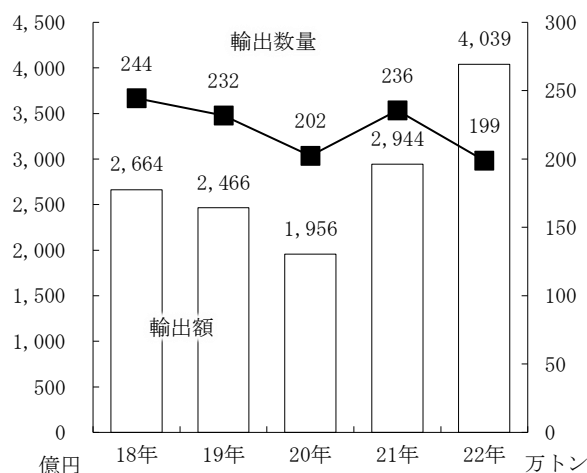
過去5年間の輸出数量及び輸出額の推移は、図-3のとおり。2022年の輸出数量は前年比15.6%（37万トン）減の199万トン、輸出額は同37.2%（1,096億円）増の4,039億円となった。

全体の輸出額に占める割合は24.4%で前年から3.0%ポイント上昇し、順位は2年連続で第1位であった。

国（地域）別では、前年第4位のメキシコと前年第3位の大韓民国の順位が入れ替わったほか、前年第7位のフィリピンが第5位に順位を上げ、代わりに前年第5位の台湾が第9位に順位を下げた。

中華人民共和国	569億円	前年比 25.4%増
タイ	459億円	前年比 18.7%増
メキシコ	449億円	前年比 56.4%増
大韓民国	404億円	前年比 33.4%増
フィリピン	286億円	前年比 57.5%増

図-3 鉄鋼の輸出数量及び輸出額の推移



2 一般機械

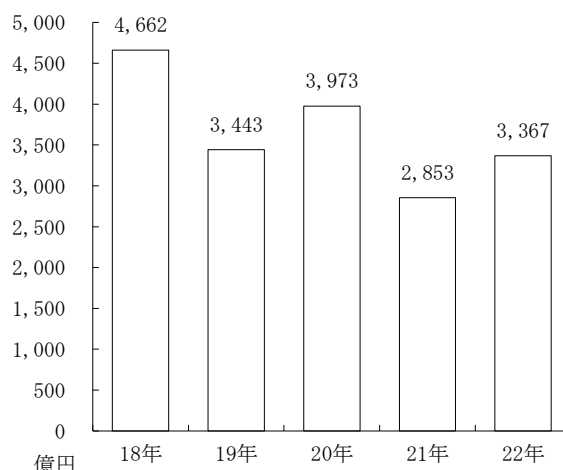
過去5年間の輸出額の推移は、図-4のとおり。2022年の輸出額は、前年比18.0%（513億円）増の3,367億円となった。

全体に占める割合は20.4%で前年から0.4%ポイント低下し、順位は2年連続で第2位であった。

国（地域）別では、前年第4位の台湾が第2位に、前年第6位のオランダが第5位に順位を上げ、代わりに前年第2位のアメリカ合衆国が第3位に、前年第3位の大韓民国が第4位に、前年第5位のベトナムが第7位に順位を下げた。

中華人民共和国	1,562億円	前年比 8.5%減
台湾	436億円	前年比 178.9%増
アメリカ合衆国	274億円	前年比 25.9%増
大韓民国	246億円	前年比 40.0%増
オランダ	159億円	前年比 148.7%増

図-4 一般機械の輸出額の推移



3 ゴムタイヤ及びチューブ

過去5年間の輸出数量及び輸出額の推移は、**図-5**のとおり。2022年の輸出数量は前年比10.4%(2.0万トン)増の21.7万トン、輸出額は前年比34.7%(419億円)増の1,627億円となった。

全体に占める割合は9.8%で前年から1.0%ポイント上昇し、順位は12年連続で第3位であった。

国(地域)別では、前年第3位のペルーと前年第4位のインドネシアの順位が入れ替わった。

オーストラリア	(344 億円、前年比 9.5%増)
チリ	(205 億円、前年比 38.0%増)
インドネシア	(168 億円、前年比 112.6%増)
ペルー	(147 億円、前年比 46.6%増)
インド	(71 億円、前年比 73.9%増)

4 有機化合物

過去5年間の輸出額の推移は、**図-6**のとおり。2022年の輸出額は前年比3.6%(30億円)増の843億円となった。

全体に占める割合は5.1%で前年から0.8%ポイント低下し、順位は2年連続で第4位であった。

国(地域)別では、前年第3位の中華人民共和国が第2位に、前年第5位のドイツが第4位に、前年第8位のアメリカ合衆国が第5位に順位を上げた。代わりに前年第2位のタイが第3位に、前年4位の台湾が第6位に順位を下げた。

大韓民国	(164 億円、前年比 30.5%減)
中華人民共和国	(157 億円、前年比 33.5%増)
タイ	(90 億円、前年比 34.1%減)
ドイツ	(73 億円、前年比 95.7%増)
アメリカ合衆国	(64 億円、前年比 107.1%増)

5 鉱物性燃料

過去5年間の輸出額の推移は、**図-7**のとおり。2022年の輸出額は前年比30.0%(177億円)増の768億円となった。

全体に占める割合は4.6%で前年から0.3%ポイント上昇し、順位を前年から3つ上げて第5位となった。

国(地域)別では、前年第1位の中華人民共和国と前年第2位のインド、前年第4位のインドネシアと前年第5位のマレーシアの順位がそれぞれ入れ替わった。

インド	(287 億円、前年比 87.2%増)
中華人民共和国	(261 億円、前年比 0.2%増)
ベトナム	(138 億円、前年比 101.2%増)
マレーシア	(50 億円、前年比 61.7%増)
インドネシア	(10 億円、前年比 69.9%減)

6 その他

第6位は電気機器で前年比0.02%増の766億円、第7位は非鉄金属で前年比25.4%増の753億円、第8位は食料に適さない原材料で前年比3.7%増の735億円、第9位はプラスチックで前年比7.2%増の606億円、第10位は再輸出品で前年比173.9%増の519億円と続いている。

また、北九州港の主な輸出品目を大分類で比較すると、原料別製品(6,877億円、前年比35.2%増)、一般機械(3,367億円、前年比18.0%増)、化学製品(2,351億円、前年比2.3%増)の順となる。

図-5 ゴムタイヤ及びチューブの輸出数量及び輸出額の推移

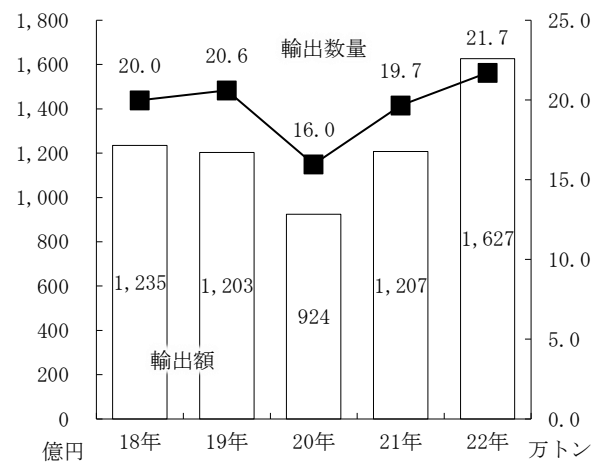


図-6 有機化合物の輸出額の推移

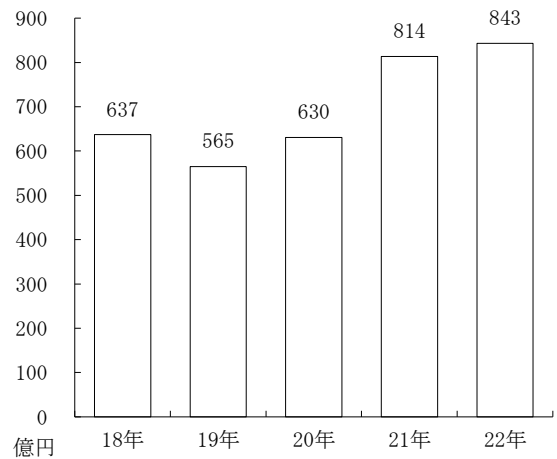


図-7 鉱物性燃料の輸出額の推移

